



図書館 めくるくん 通信

図書館 ☎ 69・3706

図書館へ行こう ～分室編7～

市内に7カ所ある分室の紹介は今回が最後。図書館本館と同じように本を借りることができます。身近な場所としてお気軽にご利用ください♪

◆太陽の家分室

時代小説やエッセイが人気の分室です。新刊雑誌は『チャント』、『婦人画報』、『和楽』があります。ゆったりとしたスペースで、幅広い年代の方にご利用いただいています。

ところ 愛知太陽の家 コミュニティホール内

とき 毎週火・水・木・土曜日

午後2時30分～6時

※祝日、図書館本館の休館日は休み。



図書館に入った本

毎月1,000冊以上の本が入ります。
一部をご紹介します♪



『翼がなくても』
中山七里／著 双葉社



『役者人生、泣き笑い』
西田敏行／著 河出書房新社



『子どもの写真整理術』
Emi(エミ)／著 ワニブックス



『茨木のり子の献立帖』
茨木のり子／著 平凡社
『こうじ甘酒レシピ作りおき』
伏木 暢頭／著 小学館



『認知症かな?と思ったらすぐ読む本』
朝田 隆／著 技術評論社



『書く力 私たちはこうして文章を磨いた』
池上彰 竹内政明／著 朝日新聞出版
『日本でいちばん大切にしたい会社 5』
坂本光司／著 あさ出版

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時は、お気軽に職員へお尋ねください。



水族館



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68・2059

短かった命

■すみれの急逝

昨年の12月4日に生まれたカピバラの赤ちゃん「すみれ」が2月26日に亡くなりました。生まれた時は早産の未熟児で、さらに親が育児放棄。生まれた直後からの大きな危機を乗り越えて、最近是非常に元気にすくすくと育っていたところでした。先月この広報にも元気な姿や紹介が掲載されたばかりの事でした。非常に残念です。

■育児放棄された赤ちゃん

すみれは3頭産まれたカピバラのうち、唯一生き残った1頭で、とても大事に育てられました(1頭は死産、1頭は生まれた翌日に衰弱死)。両親は初の出産で、育児に関心を示さず、何が起きたのかも判らない様子だったので、我々の手で人工保育をすることになりました。しかし、我々にとってもカピバラの出産は初めて。魚はよく繁殖しますが、竹島水族館にとって哺乳類の出産も初めてで、経験のある動物園や獣医さんから情報を集めての飼育になりました。

■飼育員が母親代わりで飼育

飼育主担当はカピバラの親たちを担当する塚本に任せ、それを他のスタッフでサポートする体制をとりました。塚本は24歳とまだ若く、柔軟ですが知識はベテランほど無いので、そのぶん勝手な判断はせずに慎重に危機感を持ってやってくれると思っただけです。そして何より若い体力で、水族館に泊まり込み、徹夜と休み返上で飼育に臨みました。

塚本の努力の甲斐あって、非常に安定して育っていたのですが、突然体調が悪くなり、処置をしても回復せず数時間で亡くなってしまいました。

■次に向けて

何よりも母親代わりでやっていた塚本が落胆しましたが、すぐに「もう

一回チャレンジさせてください」と言うてきてくれました。「今度は最後まで成功させお客さんに赤ちゃんの姿をしっかりと見せたい、そのためにもっと努力と勉強をします。」ということによって大きな成長のチャンスだと思っています。我々にとって大事なのはしっかりと世話をした生き物や展示水槽を通して、生き物の魅力や大切さ、存在する意味を多くの人に知ってもらい、楽しんだり感動したりしてもらおうことです。それにより多くの人に楽しく生きるためのヒントを得てもらおう事です。そのための熱意や打ち込む情熱が飼育員にないと、捕らわれて小さな水槽の中で暮らす生き物たちにとっても失礼で申し訳ないと思います。次は必ずうまくやってみせますよ。